

あらき

Ryusho Araki News

ニュース <臨時号²⁰¹⁵>

100%
市民派

緑の党
グリーンズジャパン

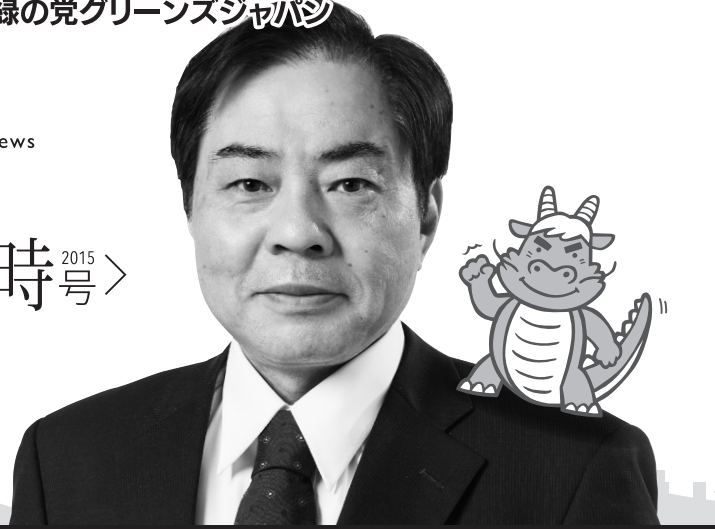
発行:福岡市議会議員 荒木龍昇(緑の党)

〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7

TEL.092-862-8980/FAX.092-862-8985

メール f-lopas@hf.rim.or.jp

http://www.araki-jp.com/



情報漏洩のリスクが高いだけではない！ マイナンバー利用中止を求めました。

●官民併用のシステムにより、情報漏洩のリスクが高まる

一昨年に成立したマイナンバー法により、すべての国民に12桁の番号(マイナンバー)が付けられ、番号通知が10月5日から始まります。9月の定例議会ではこれに関する補正予算案と、市役所内でマイナンバーを利用するための条例が議案として提出されました。

これまでの住基ネットは行政内だけで本人確認の

ために使われるものでしたが、マイナンバーは①個人番号に様々な情報が紐づけられる、②官民併用システムなので情報漏洩の危険が高くなる、といった点が大きく違います。これによって年金情報の漏洩のようなことが起これば、その被害の程度は格段に大きくなります。韓国やアメリカでは、なりすましによる被害が多額に上っています。

●マイナンバー通知カード・送付時の問題

マイナンバー通知が10月5日から始まり、世帯ごとに通知カードが簡易書留で届けられます。

世帯単位なので、本人確認が確実にされるか、戻された通知カードを改めてどのようにして届けるのか、通知カードに気づかないケースが出てくるな

ども、気になるところです。また、DV被害者、入院、震災避難者や原発避難者などは事前に届け出ようになっていますが、しっかりした対策が取られているのか疑問が残ります。ホームレスの方や無戸籍者などの問題も残されています。

●銀行や医療にも拡大、個人情報の一元管理の恐れ

国は当初、ナンバーの利用目的を「税」「社会保障」「災害」の3分野のみとしていましたが、この9月、まだ実施もしていないのに改正案が可決して「銀行」や「医療」にも拡大し、情報を民間利用することが可能となりました。他方、報道では民間企業・法人では2~3割しか準備できてない、国民の多くには理解されていないとしています。法律では名寄せ(情報

を集める)は禁止されていますが、警察の捜査には自由に使え、また“特定秘密保護法”が施行されているため、特定秘密に指定されれば私たちの情報がどのように使われるのかわかりません。マイナンバーは、住所・氏名など4情報だけでなく、収入、資産、病歴、消費動向など私たちの個人情報が入り括管理されかねない、人権侵害の恐れが強いものです。

●利便性向上にはつながらず、企業負担も大きい

このシステム改修には国は3000億円程度、自治体も同程度の負担が必要と言われ、民間も多額の負担が求められます。中小零細事業者の負担は更になります。マイナンバーを導入しても自治体の利便

性向上には繋がらず、高知市では「自治体では現状のシステムで十分対応でき、システム改修は急ぐ必要がない」としています。またマイナンバーカードを使うためには用途に応じて4種の暗証番号が必要に

なるなど、使う頻度が年に1度あるかないかの状況を見て、市民にとっても利便性向上に繋がりません。

以上のことから、福岡市でのマイナンバー導入を

見合わせ、また国にマイナンバー利用を中止するよう要請することを、福岡市に求めました。

アスベスト問題、再び～実態調査を訴えています。

市民からアスベストを含有する再生砕石(建築資材をリサイクルして製造された砂利)があるという連絡を受け、私は6月議会で再生砕石中のアスベストの存在について質問しました。福岡市は「市内6箇所再生砕石事業所での立ち入り調査で目視しているがアスベストの混入はない」、「市内の大気中の調査でも検出されていない」と答えましたが、再生砕石がどのように使われているのか実態を把握しているわけではありません。

実態調査を求めましたが、実施する動きはありませんでした。そこで、私は西区及び早良区の3箇所再生砕石を採取し、検査機関に分析を依頼しました。その結果、3箇所中2箇所からアスベストが検出されました。直ちに市に報告し、実態調査を求めました(西日本新聞や朝日新聞でも報道されています)。

建設リサイクル法が2000年に制定され、コンクリート建築資材の98%以上が再利用されるようになりました。2010年に行われた市民の調査で、埼玉県の間宮市に使用されていた再生砕石の中にアスベストが含有していたことが発覚したことをき

かけに問題となりました。再生砕石を製造する場合には事前にアスベストを除去しなければなりません。しかし、アスベストが混入していないはずの再生砕石からアスベストが検出されたことは重要な問題です。国は「関係事業者に対して周知するとともに、解体工事現場等のパトロールおよび必要に応じた立入検査の実施により、関係法令の遵守状況について確認を行うなど、適正に措置する」よう、全国の都道府県・政令市に通知を出しています。通知を受け全国的に調査され、検出されたところがあったようですが、大気中のアスベストは問題がないレベルとしていました。

アスベストを混入していることが直ちに健康被害に繋がるわけではありませんが、予防的視点から実態調査をすべきです。福岡市は6事業所の立ち入り検査をしていますが、大気中のアスベストおよび再生砕石からサンプル調査をすべきです。また、たとえ市内の事業所で検出されなくても、市外からの持ち込みも考えられ、搬入経路の調査も必要です。

今後も予防原則の視点に立って、住民の暮らしの安心安全のために努めてまいります。

そのほか、
9月議会の中で

- ・「市立幼稚園の廃園」に強く反対しました。
- ・8月に行われた「戦争展」への後援を拒否した問題について、厳しく追及しました。
- ・市民に開かれた議会の実現に向けて、特別委員会が設置されることになりました。

市民の声を市政に! 「困った」「こうして欲しい」などの“声”をお寄せください。

あらかき龍昇は、議会の前に「議案検討会」、議会の後には「議会報告会」や「市政懇談会」を開催し皆さんの声を議会に反映させるための取り組みを行っております。お気軽にご連絡ください。

◆「市政懇談会」の予定

- ① 日時／11月29日(日) 14:00～16:00 場所／田隈公民館
- ② 日時／12月 5日(土) 13:30～15:30 場所／西新公民館

皆さまの声が届く議会づくりを目指しています。

●東区の森あや子議員とともに会派「緑と市民ネットワークの会」を組んで議員活動を行っています。

ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。

あらかき事務所 ☎092-862-8980

「あらかき龍昇」公式ウェブサイト
<http://www.araki-jp.com/>

